

TOTO

第2版

小便器 フラッシュバルブ メンテナンスマニュアル (保守管理会社様向け)

対象品番：

T600PNX/PQRX/PFNKX 関連

T601PX/TG600PNX/PFNKX 関連

注意

記載内容に従い、適切なメンテナンスをお願いします。不適切な分解、修理、改造およびメンテナンス時の不注意により生じた不具合は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

TOTO株式会社

2011年 3月

目 次

1.	製品仕様	1
	(1) 仕様	1
	(2) 寒冷地用の凍結防止のしくみ	1
2.	構造	2~4
3.	修理にあたって	5
4.	故障診断	6
5.	故障診断フローチャート	7
6.	各部のチェック方法	8~9
7.	Q&A	10~16
8.	部品交換手順	17~19
9.	パーツリスト	20~32

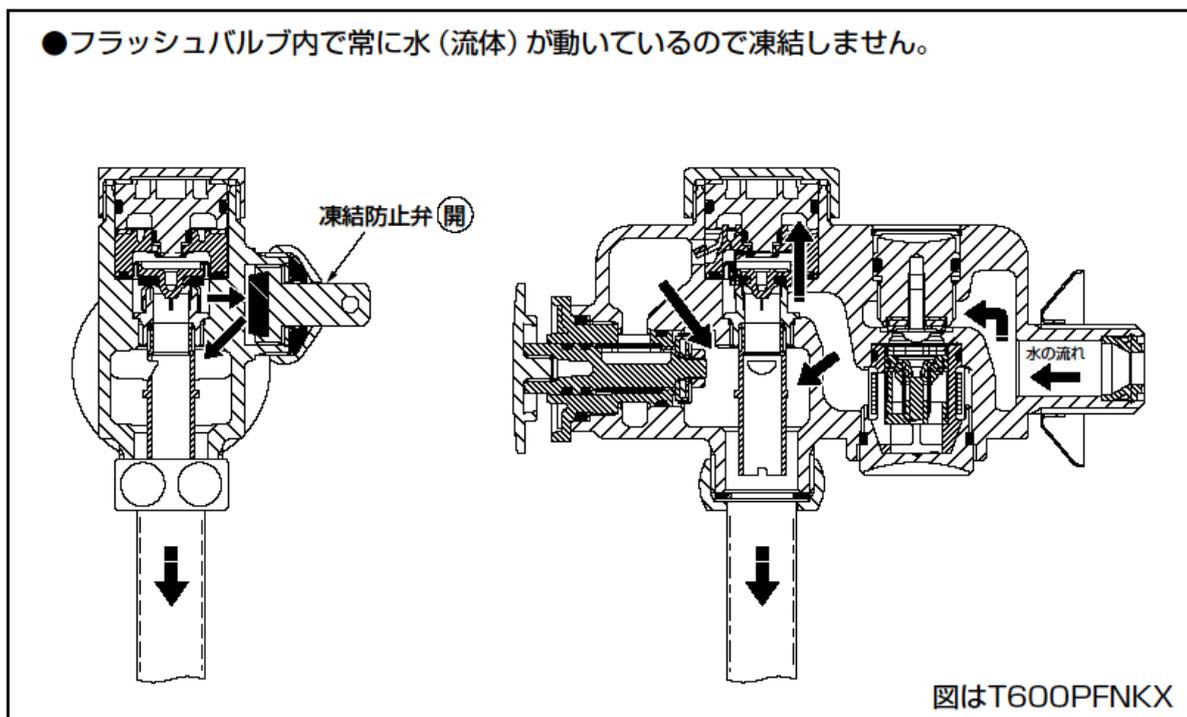
1 製品仕様

(1) 仕様

タイプ	T600型	TG600型
使用箇所	パブリックおよび一般家庭用トイレ	
用途	小便器とセット状態にて使用し、本商品は手動フラッシュバルブ機構を有し、小便器を洗浄する。	
適用範囲	性能は小便器にセットした状態とする。	
適用流体	水道水	
適用流体温度	1~40℃ (凍結状態は不可)	
使用環境温度	一般地	1~40℃
	寒冷地	-10~40℃ (凍結状態は不可) (0℃以下では給水圧力0.10MPa以上、流体温度4℃以上のこと)
使用環境湿度	95%RH以下	
給水圧力	最低必要水圧	0.07MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa
吐水量	2~6L (減圧ブッシュ有) ※淀掛け小便器に使用の場合は4~8L (減圧ブッシュなし)	

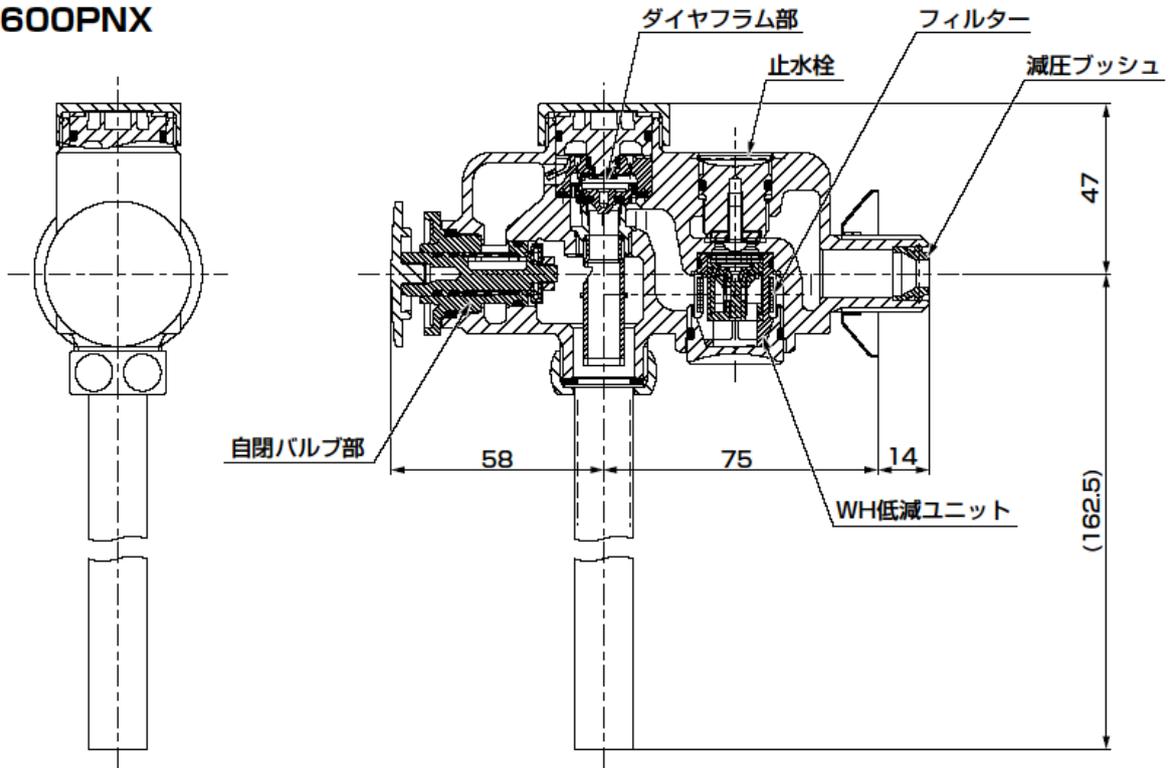
(2) 寒冷地用の凍結防止のしくみ

凍結防止を開けることで、常に少量の水が便器内に流れます。
常に少量の水が便器内に流入し、凍結を予防します。

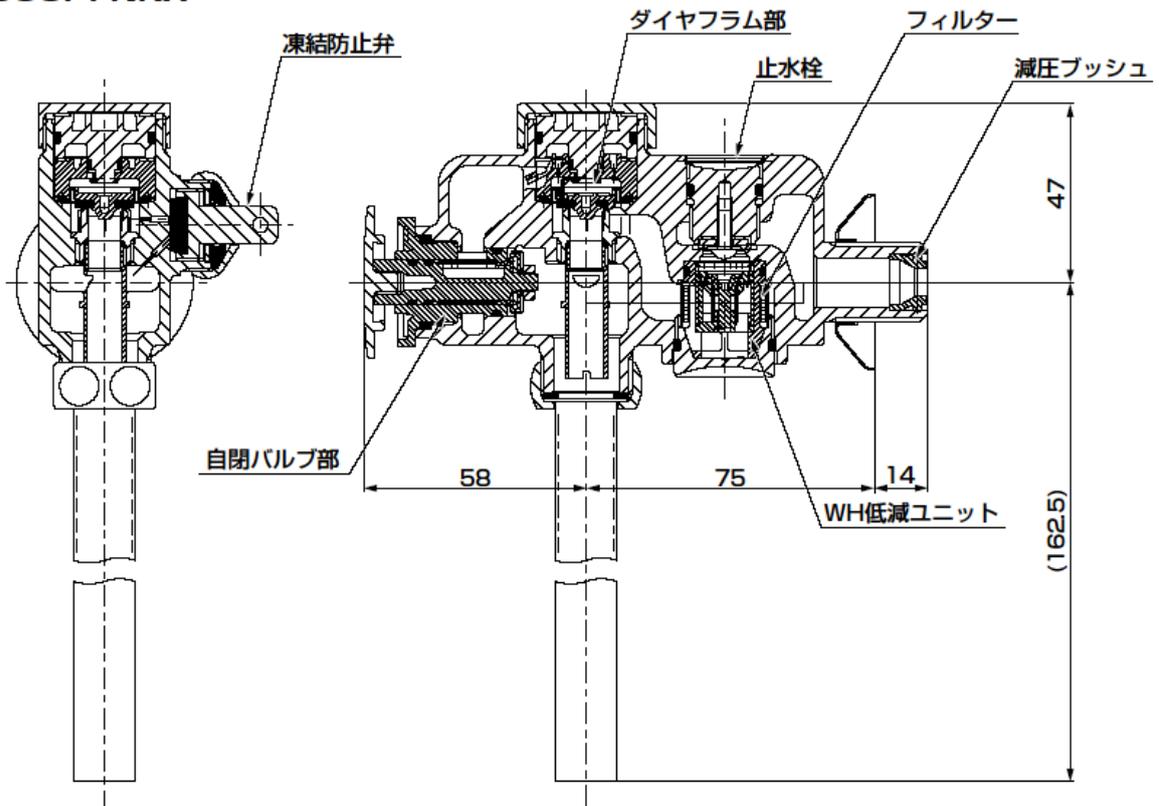


2 構造

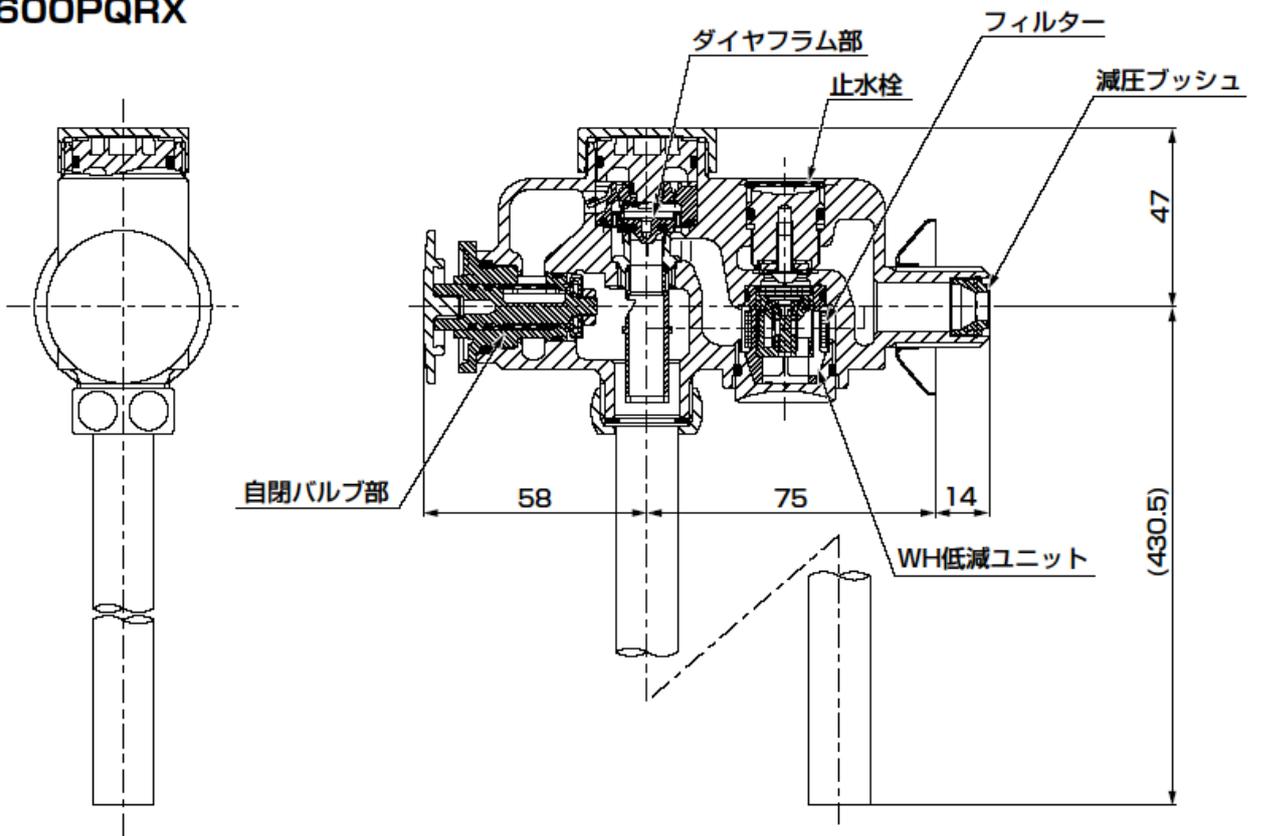
●T600PNX



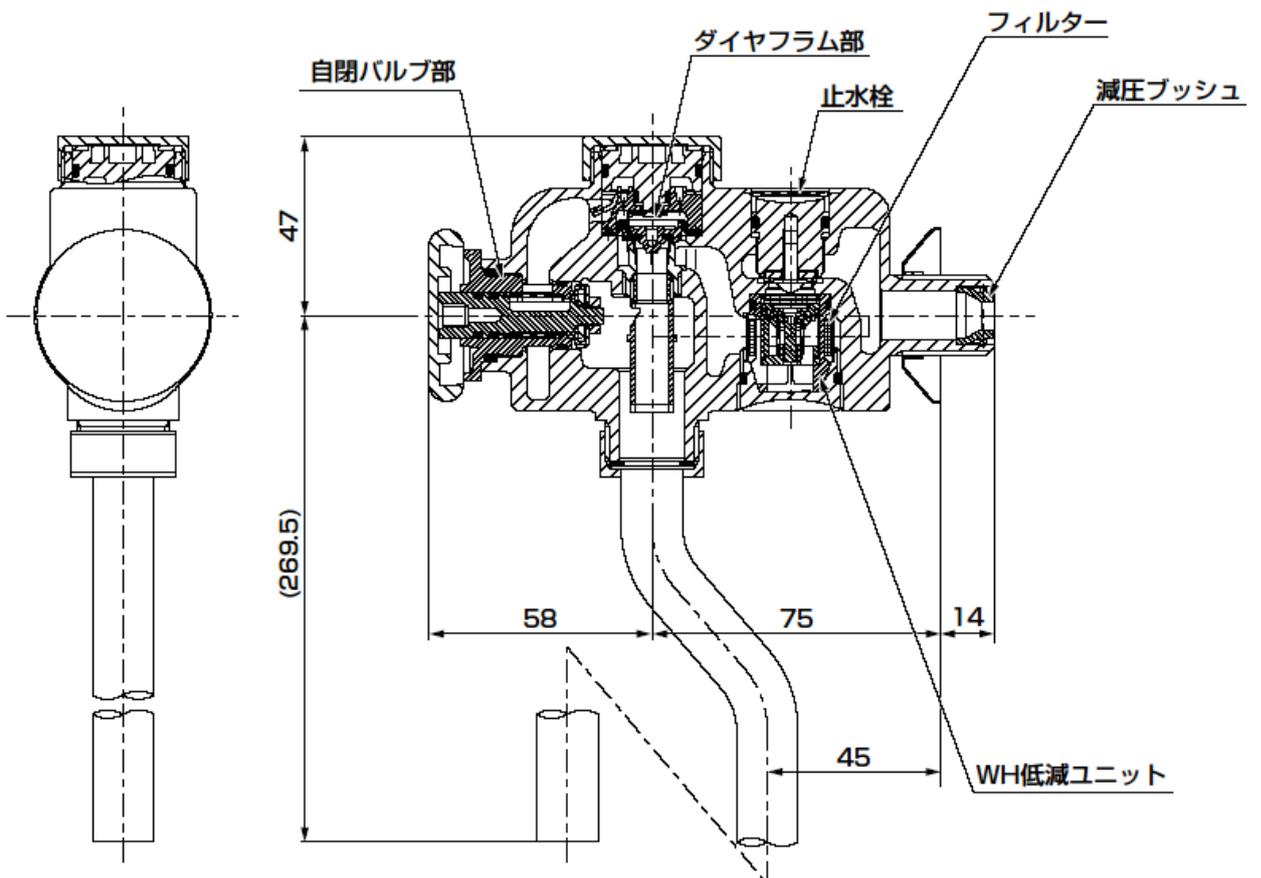
●T600PFNKX



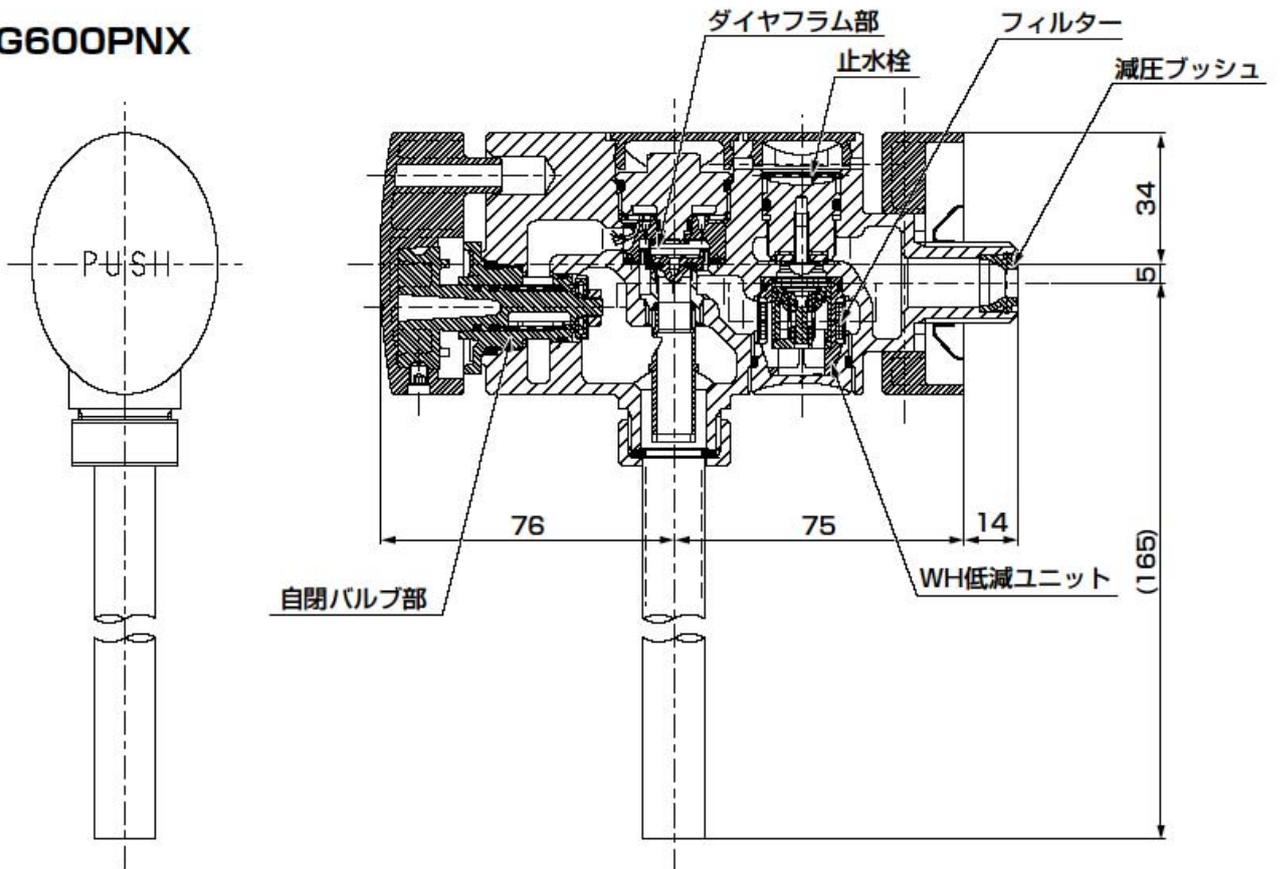
●T600PQRX



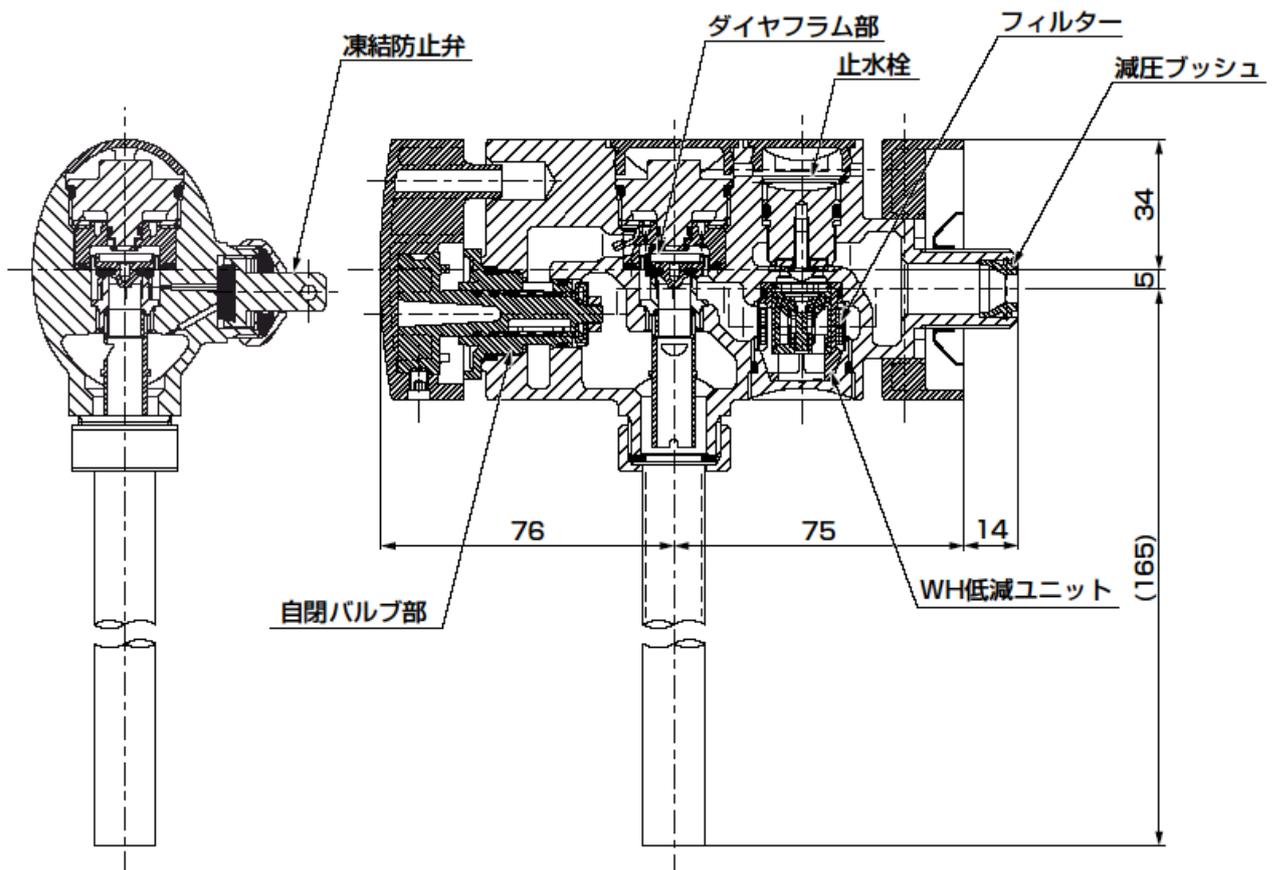
●T601PX



●TG600PNX



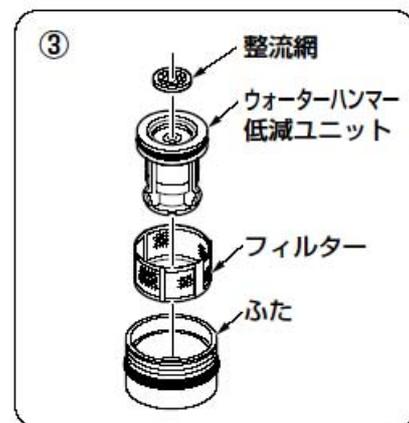
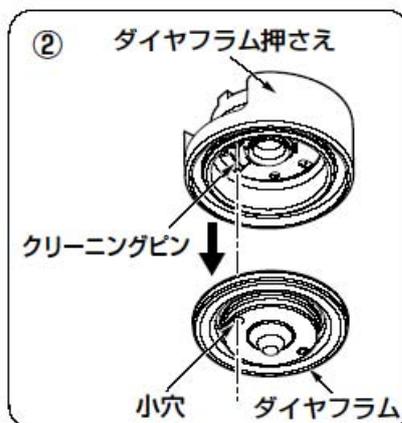
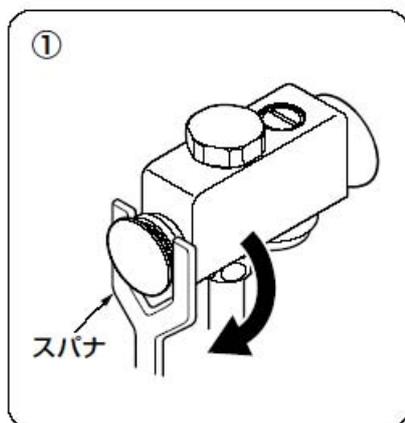
●TG600PFNKX



3 修理にあたって

(1) 部品交換時の注意点

- ① 自閉バルブ部を取り付ける際には締め付けトルクにご注意ください。
締め付け過ぎると破損するおそれがあります。
※補修品に同梱しているスパナを使用することをおすすめします。
- ② ダイヤフラムバルブ部を取り付ける際には、ダイヤフラム小穴にピンが入っているかご確認ください。なお、ダイヤフラムとダイヤフラム押さえが外れて再組立する場合は、クリーニングピンと小穴の方向性に注意してクリーニングピンを曲げたり、ダイヤフラムを傷つけないようにご注意ください。
- ③ ウォーターハンマー低減ユニットを交換する際には整流網の付け忘れにご注意ください。
またフィルターが落下しないようにご注意ください。



(2) 補修用工具

修理・点検にあたっては、次の工具を準備しておくとう便利です。

工具

- ・モンキースパナ (大・小)
- ・モーターレンチ
- ・ラジオペンチ
- ・ドライバー +・-
- ・精密ドライバー
- ・六角レンチ
- ・ブラシ (歯ブラシなど)
- ・専用工具 (付属品・補修用付属品)

4 故障診断

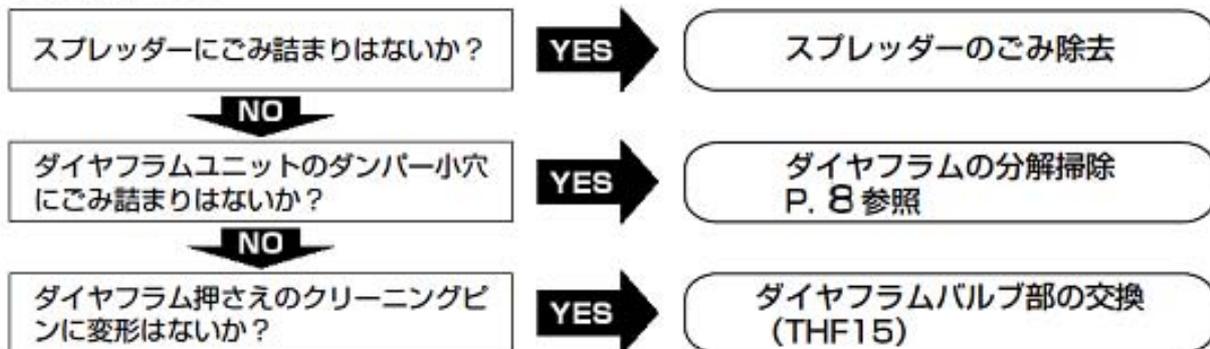
(1) 診断にあたって

- ① まず、使用者より不具合内容を十分に聞きだしてください。
 - (イ) 故障状態 (どの機能が) 1カ所か、複数か
 - (ロ) 状況 (どのように) 具体的に
 - (ハ) 経過 (いつごろから) 常時か、時々か
- ② 次に実際作動させて故障状態・故障箇所を確認してください。
 - (イ) 内容によっては商品説明を行う。
 - (ロ) 再現しない場合は状況によりしばらく様子を見てもらう。
 - (ハ) 次の点検項目も参考にする。

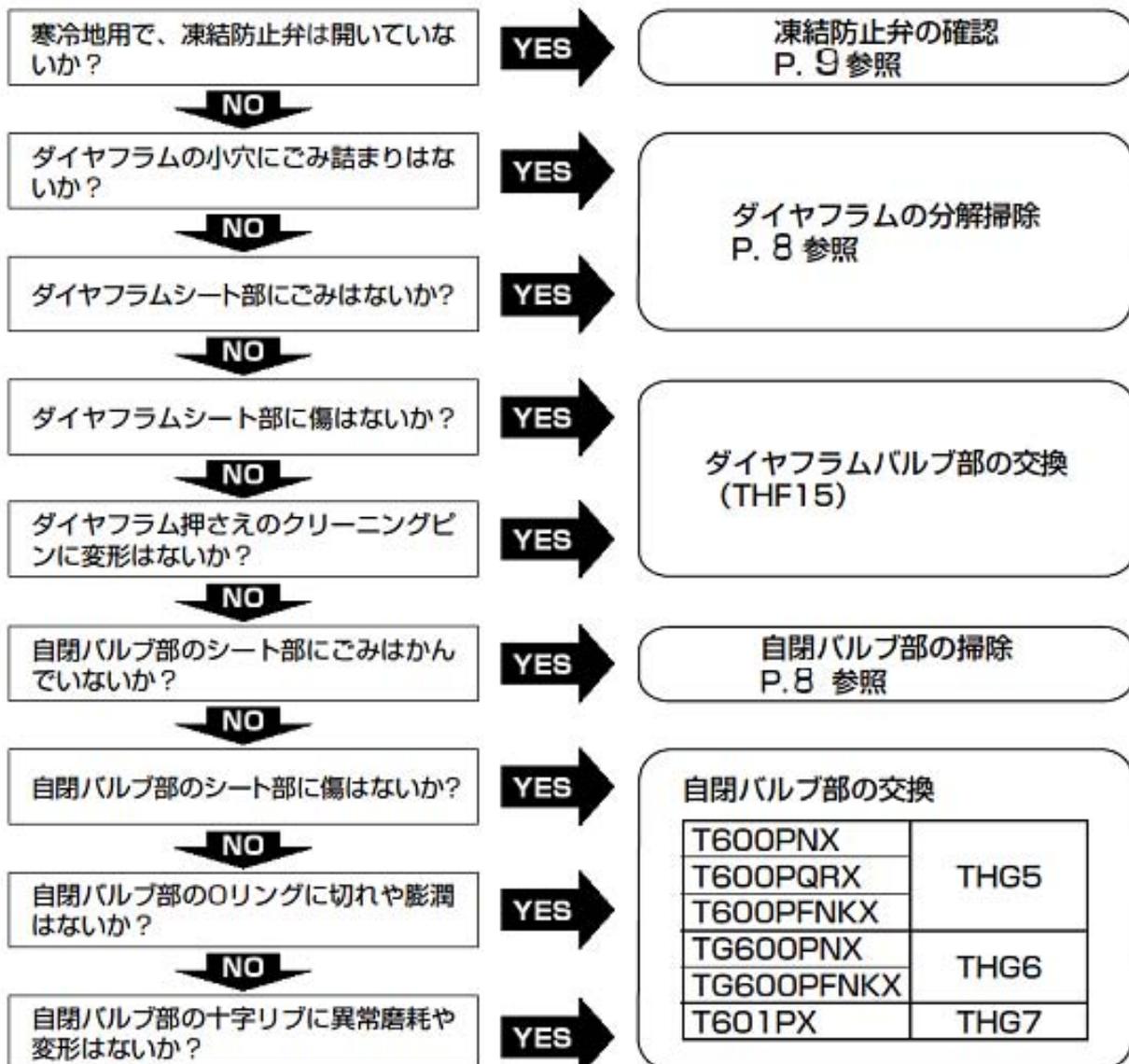
基本チェック	<ul style="list-style-type: none">●断水していないか？●給水元バルブは「全開」の状態か？●フィルターおよび整流網の目詰まり、変形などはないか？●給水圧力は0.07MPa以上か？
---------------	--

5 故障診断フローチャート

(1) 吐水しない



(2) 止水しない



6 各部のチェック方法

■ダイヤフラム部の確認

クリーニングピンを曲げたり、ダイヤフラムを傷つけたりしないように注意して、ダイヤフラムとダイヤフラム押さえを取り外します。

① 小穴の確認

穴に異物が詰まっていないか確認する。

➡ あれば除去してください。

② シート部の確認

(イ) ダイヤフラムのシート面と主弁シート面の間に異物が詰まっていないか確認する。

➡ あれば水洗いして取り除いてください。

(ロ) ダイヤフラムのシート面と主弁シート面に傷やへこみはないか

➡ あれば交換してください。

③ クリーニングピンの確認

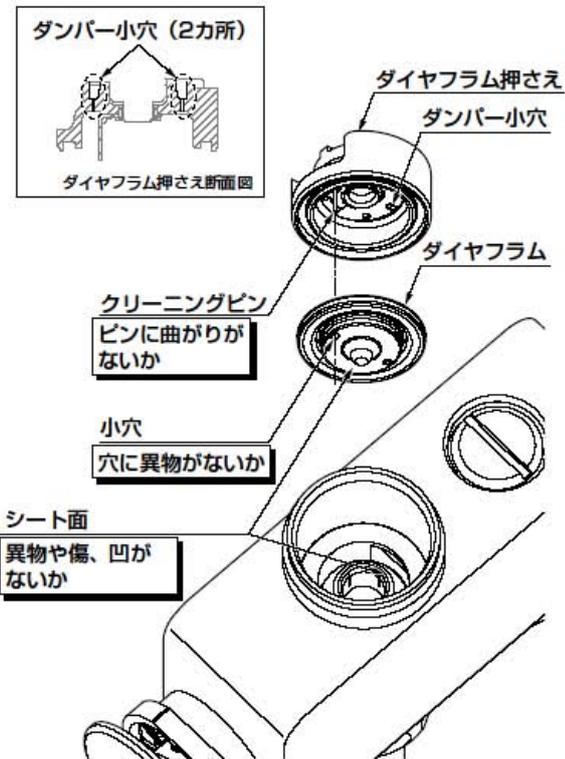
ダイヤフラム押さえのクリーニングピンに曲がりがないか確認する。

➡ 曲がりがあれば交換してください。

④ 全体の清掃

ダイヤフラムおよびダイヤフラム押さえ全体を水洗いしてください。

※ 清掃後、クリーニングピンでダイヤフラムを傷つけたり、クリーニングピンを曲げないように注意してダイヤフラムの小穴に差し込んでください。



■自閉バルブユニットの確認

① シート部の確認

(イ) 自閉バルブ部のシート面に異物が付着していないか確認する。

➡ あれば除去してください。

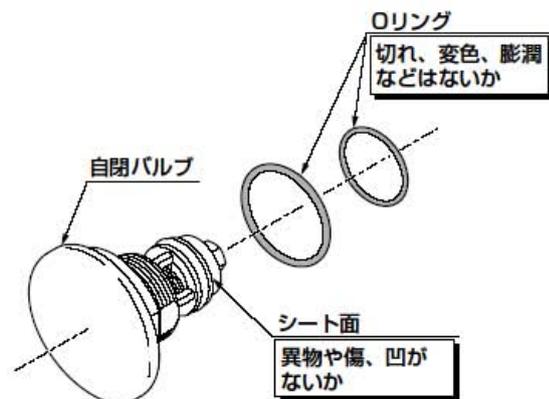
(ロ) 傷やへこみがないか確認する。

➡ あれば自閉バルブ部を交換してください。

② Oリングの確認

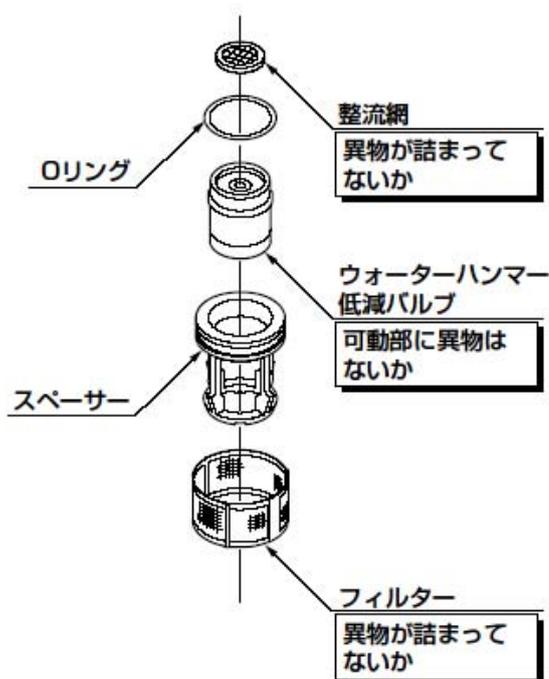
切れ・変色・膨潤などないか確認する。

➡ あれば自閉バルブ部を交換してください。



■ウォーターハンマー低減ユニット(フィルター部)の確認

- ① フィルターの確認
異物で網の穴が目詰まりしていないか確認する。
➡ あれば歯ブラシなどで除去してください。
- ② 整流網の確認
異物で網の穴が目詰まりしていないか確認する。
➡ あれば除去してください。
- ③ ウォーターハンマー低減バルブの確認
可動部の隙間に異物が挟み込んでいないか確認する。
➡ あれば除去してください。

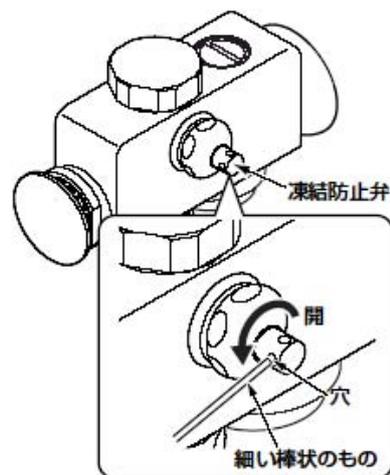


■凍結防止弁(寒冷地用のみ)の確認

- ① 冬期など凍結のおそれがある場合
凍結防止弁を開けてください。
➡ 常に少量の水が便器内に流入し、凍結を予防します。
- ② 夏期など凍結のおそれがない場合
凍結防止弁を閉めてください。
➡ 常に便器内に流入している少量の水が、止まります。

※ご注意

凍結防止弁を開けると常に少量の水が便器内に流れます。これは止水不良ではなく、凍結防止弁からの流動水です。凍結防止が不要なときに便器内に少量の水が流れている場合は、凍結防止弁を閉め忘れていないかご確認ください。



凍結防止弁の穴に細い棒状のものを差し込んで、反時計回りに回す。

- 目次 -

施工

- Q 1. 一般家庭でも使用できますか？
- Q 2. 旧型小便器にも使用できますか？
- Q 3. 小便器交換により小便器高さが変わったのですが、給水位置を変えずに設置できますか？
- Q 4. 淀掛用小便器に取り付けるときに排水心が合わないのですが、対応できますか？

調整

- Q 5. 水勢や吐水量の調整は必要ですか？
- Q 6. 水勢や吐水量の調整の仕方は？

仕様

- Q 7. 再生水に使用できますか？
- Q 8. 節水型はありますか？
- Q 9. 1サイクル吐水量は？
- Q10. 水量調整ねじが2つあるものがあるのですが、どちらを使用すれば良いですか？
- Q11. 幼児用に寒冷地対応品はありませんか？
- Q12. 不凍結タイプを水抜きタイプとして使用できますか？
- Q13. T600PQRXの排水管が長いのは？

性能

- Q14. 洗浄終了時に異音が発生するのですが？
- Q15. 不凍結タイプ的小便器用フラッシュバルブの流動水量はどのくらいですか？
- Q16. 従来品に比べて吐水時間が長いのですが？
- Q17. 吐水時間は変更できますか？
- Q18. 小便器用フラッシュバルブの操作力はどれくらいですか？
- Q19. 大便器（ネオレストシリーズ）洗浄弁閉止時に小便器用フラッシュバルブから吐水するのはなぜですか？

その他

- Q20. お手入れの方法は？
- Q21. 商品の認証はどうなっていますか？
- Q22. T60PタイプはJIS品なのにT600PタイプはなぜJIS品ではないのですか？

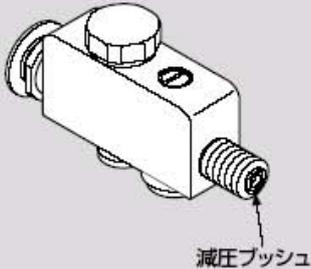
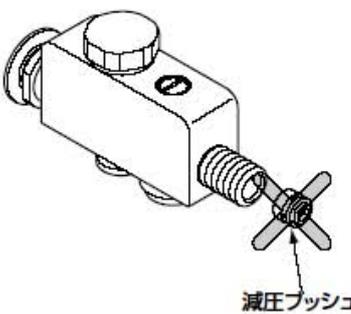
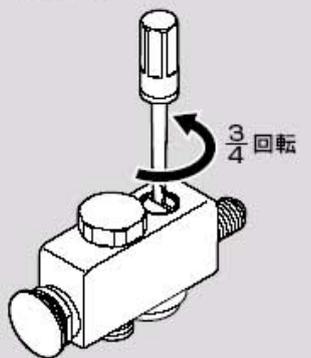
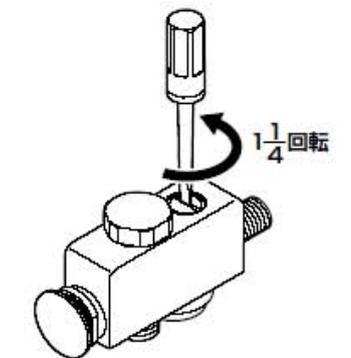
Q1 一般家庭でも使用できますか？

A 商品仕様を満たす取付環境であれば使用できます。
P3. 商品仕様の (1) 仕様 を参照

Q2 旧型小便器にも使用できますか？

A 別途調整することで使用できます。(一部の小便器を除く)
下記調整方法を参照ください。

- 本商品は、どちらの洗浄方式にも対応可能です。
工場出荷時はスプレッター洗浄方式の状態出荷しています。
淀掛け洗浄方式の場合は下図の要領に従って別途調整して取り付けください。

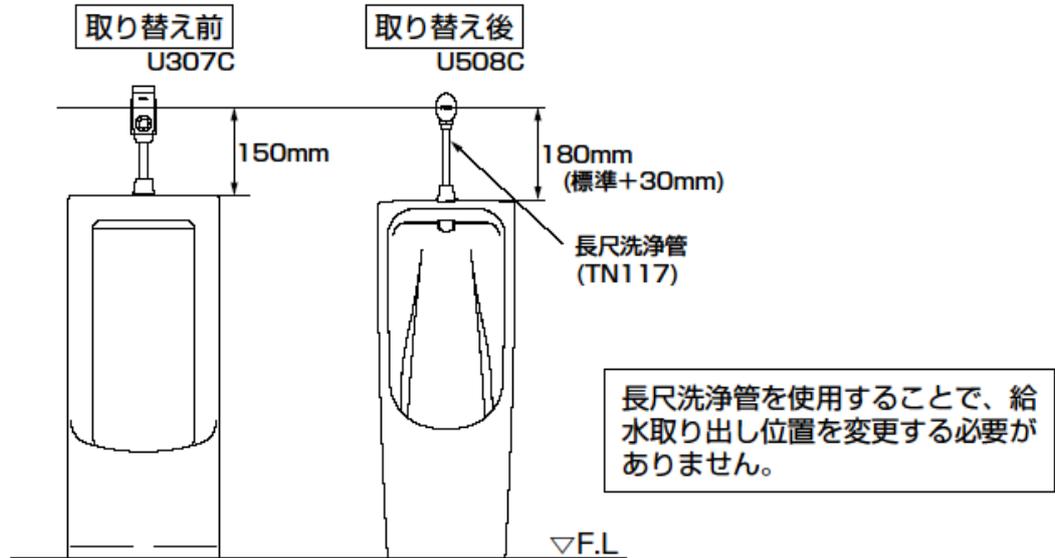
洗浄方式	スプレッター洗浄方式 (工場出荷時の状態です)	淀掛け洗浄方式 (別途調整が必要です)
減圧ブッシュ	必ず減圧ブッシュをつけたまま取り付けてください。 	必ず減圧ブッシュを外して取り付けてください。 
止水栓調整の目安	洗浄水量=4L(0.2MPaの時) 全閉後、反時計回り方向に $\frac{3}{4}$ 回転戻してください。 	洗浄水量=6L(0.2MPaの時) 全閉後、反時計回り方向に $1\frac{1}{4}$ 回転戻してください。 
水圧により水勢が異なりますので、小便器の洗浄状態を確認して調整してください。		

Q3

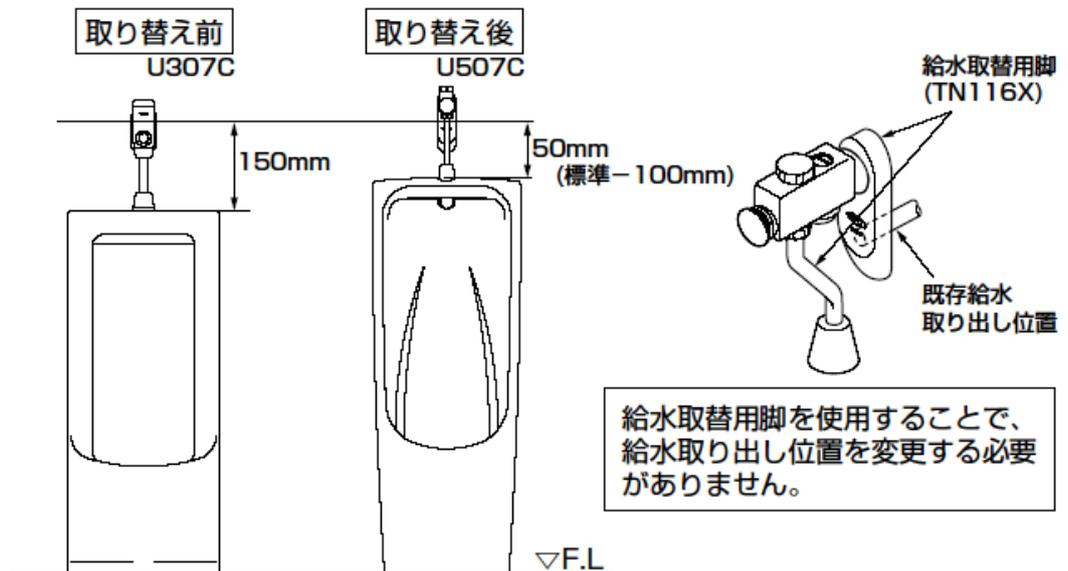
小便器交換により小便器高さが変わったのですが、給水位置を変えずに設置できますか？

A

① 給水心が高い場合には長尺洗浄管を使用ください。



② 給水心が低い場合には給水取替用脚を使用して給水位置を上げてください。



Q4

淀掛用小便器に取り付けるときに排水心が合わないのですが、対応できますか？

A

下記表の洗浄管を別途購入し、組み替えて頂くことで対応できます。
表以外の洗浄管はお勧めとは言えず、あくまでも現場責任となりますので、ご了承ください。

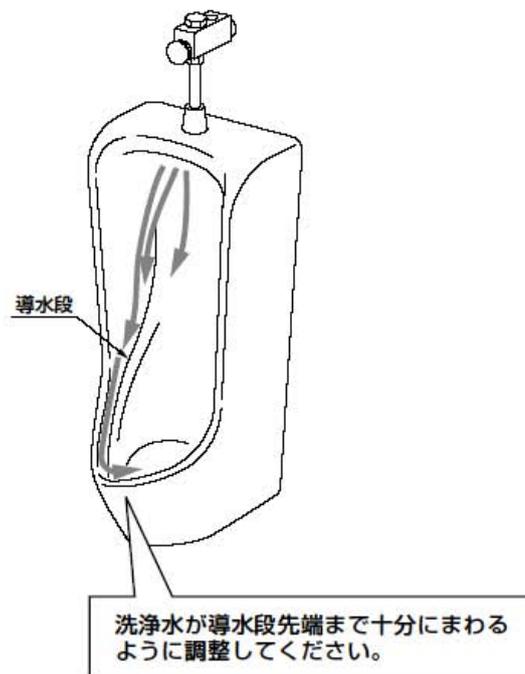
	小便器	洗浄管
淀掛 床置	U309C	401271
	U116	40127
	U100	×
淀掛 壁掛	U5	40065
	U23	
	U104	
	U370	

Q5

水勢や吐水量の調整は必要ですか？

A

必要です。出荷時は0.2MPaでの調整をしています。
水圧によって止水栓で適量に調節してください。



※水勢が強すぎますと、洗浄飛沫・水飛びが多く発生する場合があります。

Q6 水勢や吐水量の調整の仕方は？

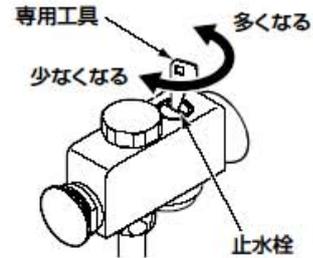
A 下記調整方法を参照ください。

T600型

専用工具などで止水栓を回す。

時計回り……………洗浄水量が少なくなり、水勢が弱くなります。

反時計回り……………洗浄水量が多くなり、水勢が強くなります。



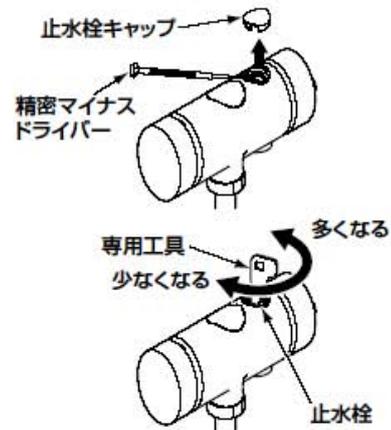
TG600型

1. 止水栓キャップを精密マイナスドライバーなどで外す。

2. 専用工具などで止水栓を回す。

時計回り……………洗浄水量が少なくなり、水勢が弱くなります。

反時計回り……………洗浄水量が多くなり、水勢が強くなります。



Q7 再生水に使用できますか？

A 正規品は再生水対応しておりませんが、特殊品にて対応可能です。

2008.3 現在

T600PNVTSX T600PQRVTSX

TG600PFNVTSKX TG600PNVTSX

※品番は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください

Q8 節水型はありますか？

A 本商品は従来の淀掛け洗浄方式と比較して節水対応となっています。

Q9 1サイクル吐水量は？

A 2L ~6Lです。

Q10

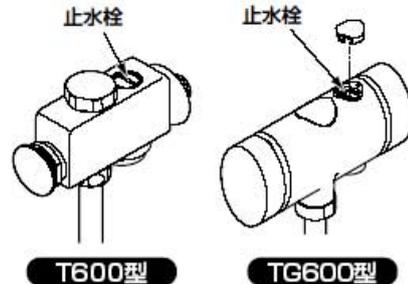
水量調整ねじが2つあるものがあるのですが、どちらを使用すれば良いですか？

A

止水栓で調節ください。水量調節ねじを締め込み過ぎると、ダイヤフラム弁のリフト不足でダイヤフラムシート部へのごみかみが発生する可能性があります。

※現在は商品本体上面手前のキャップを外したときのねじが廃止となっております。

詳細は通達No. EJBF-2007-013を参照ください。



Q11

幼児用に寒冷地対応品はありませんか？

A

幼児用小便器に寒冷地対応品がないため、フラッシュバルブもありません。また、特殊品として設定する場合には非常に高額になる可能性があります。

Q12

不凍結タイプを水抜きタイプとして使用できますか？

A

便宜的には可能です。水抜きタイプとして使用する場合には、設置住宅の水抜き栓を開けて、止水栓と凍結防止弁を全開にしてください。

さらに、圧力室の水を完全に抜くために押しボタンを一度押してください。

なお、便宜的な手段となり、あくまで現場責任となりますので、お勧めはできません。

Q13

T600PQRXの排水管が長いのは？

A

小便器用フラッシュバルブと小便器の間に手すりが付くことを想定しているため、長くなっています。



Q14

洗浄終了時に異音が発生するのですが？

A

押しボタンを押して水が止まる際に、配管内の空気が原因で音が出ることがあります。そのときは10回程度押しボタンを押して水を流してください。

水と一緒に空気が抜けると音が消えます。

Q15

不凍結タイプの小便器用フラッシュバルブの流動水量はどのくらいですか？

A

0.2MPaで約0.25L/minです。

Q16

従来品に比べて吐水時間が長いのですが？

A

ご使用の環境により吐水時間が変動する場合があります。

特に水圧の低い場合などに、吐水時間は30秒程度かかる場合がありますが、瞬間流量を少なくして1サイクルあたりの吐水量を抑えています。

Q17 吐水時間は変更できますか？

A 吐水時間は変更できません。
(詳細につきましては、商品情報HP水栓金具Q&A：Q1084 を参照ください。)

Q18 小便器用フラッシュバルブの操作力はどれくらいですか？

A 約15Nです。

Q19 大便器（ネオレストシリーズ）洗浄弁閉止時に小便器用フラッシュバルブから吐水するのはなぜですか？

A ウォーターハンマー低減ユニットを掃除してください。ごみかみにより機能が阻害されている可能性があります。
設置環境によっては大便器（ネオレストシリーズ）併設の状態で大便秘器洗浄弁閉止時に大きな圧力変化が起こることがあり、その場合はウォーターハンマー低減ユニットが効かないこともありますので、お問い合わせください。

Q20 お手入れの方法は？

A 下記の通りです。
●軽い汚れの場合
水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。
●ひどい汚れの場合
適量にうすめた中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。
●水栓の表面およびカバーの内側を傷つけるものは使用しないでください。
・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
・シンナー、ベンジンなどの溶剤
・クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
・ナイロンたわし、たわし、ブラシなど

Q21 商品の認証はどうなっていますか？

A 第三者（日水協）認証品です。

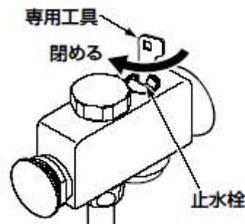
Q22 T60PタイプはJIS品なのにT600PタイプはなぜJIS品ではないのですか？

A 現在、スプレッダー仕様品小便器洗浄弁はJIS規格の種類として定められていません。

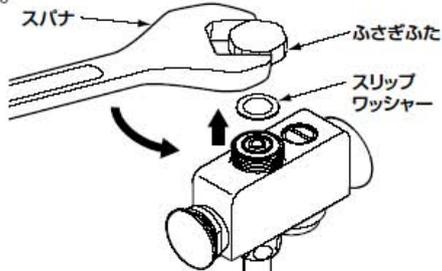
■ ダイヤフラムバルブユニットの交換

T600型

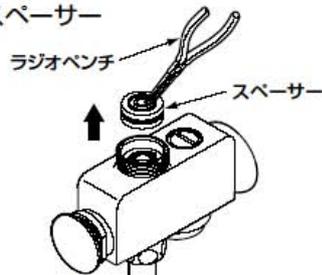
- ① 止水栓を閉める。



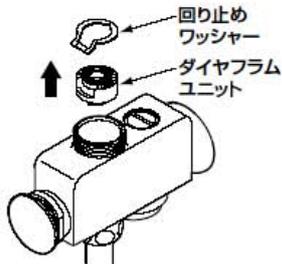
- ② ふさぎふたを外し、スリップワッシャーを取り出す。



- ③ ラジオペンチでスペーサーを外す。



- ④ 回り止めワッシャー、ダイヤフラムユニットを取り出す。

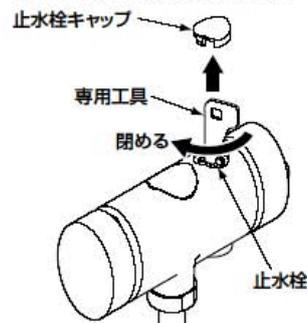


- ⑤ 交換用のダイヤフラムバルブユニットを取り付け、回り止めワッシャーを入れる。
※方向に注意してください。

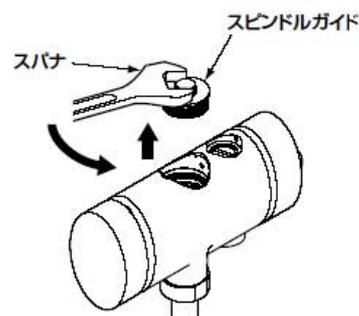
- ⑥ スペーサーを取り付け、スリップワッシャーを入れ、ふさぎふたを取り付ける。

TG600型

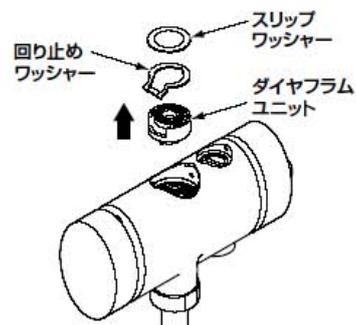
- ① 後方のキャップを外し、止水栓を閉める。



- ② 前方のキャップを外し、スパナなどでスピンドルガイドを外す。



- ③ スリップワッシャー、回り止めワッシャー、ダイヤフラムバルブユニットを取り出す。



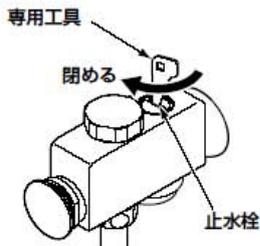
- ④ 交換用のダイヤフラムバルブユニットを取り付け、回り止めワッシャーを入れる。
※方向に注意してください。

- ⑤ スペーサーを取り付け、スリップワッシャーを入れ、ふさぎふたを付ける。

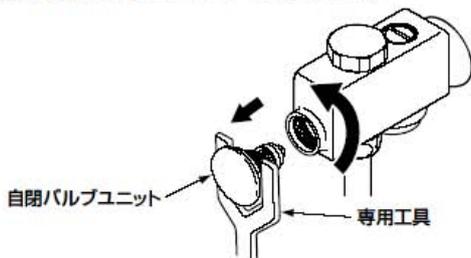
■ 自閉バルブユニットの交換

T600型

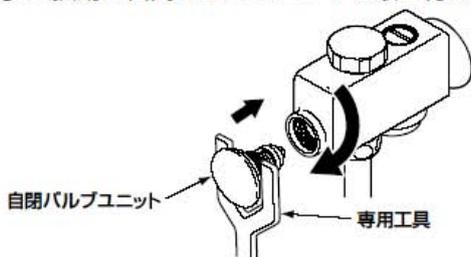
- ① 止水栓を閉じる。



- ② 自閉バルブユニットを取り外す。



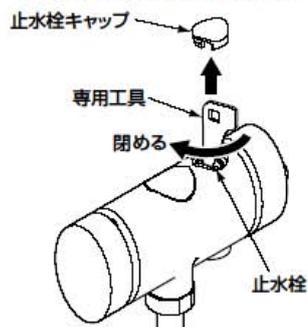
- ③ 交換用の自閉バルブユニットを取り付ける。



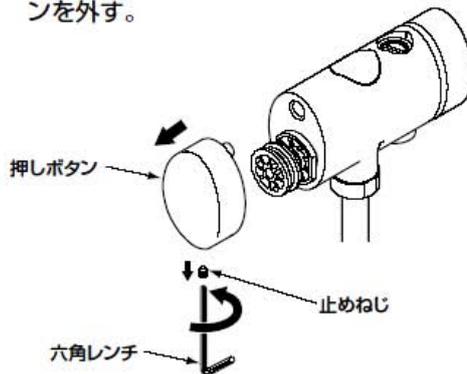
※取り付けの際は、専用工具を使用してください。専用工具がない場合は締め過ぎに注意して、スパナなどで取り付けてください。

TG600型

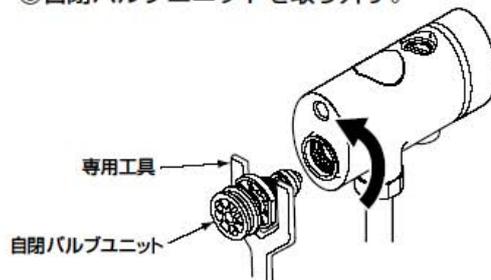
- ① 後方のキャップを外し、止水栓を閉じる。



- ② 押しボタン下側の止めねじを外し、押しボタンを外す。



- ③ 自閉バルブユニットを取り外す。



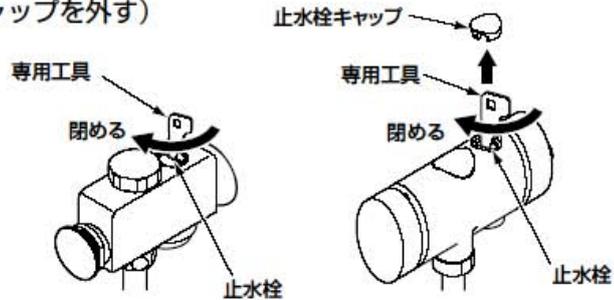
- ④ 交換用の自閉バルブユニットを取り付ける。

- ⑤ 押しボタンを入れ、止めねじを取り付ける。
※取り付けの際は、専用工具を使用してください。専用工具がない場合は締め過ぎに注意して、スパナなどで取り付けてください。

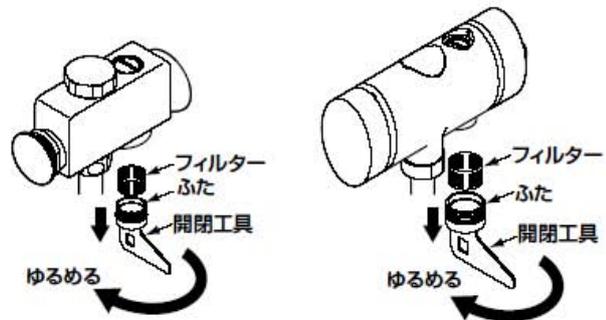
■ ウォーターハンマー低減ユニットの交換

T600型/TG600型

- ① 止水栓を閉じる。(TG600型は後方のキャップを外す)



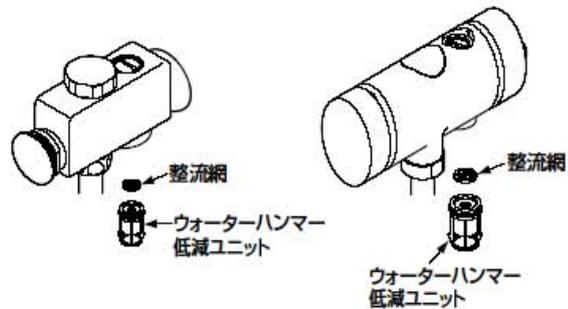
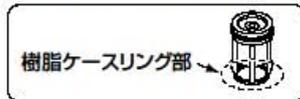
- ② ふたを外し、フィルターを取り出す



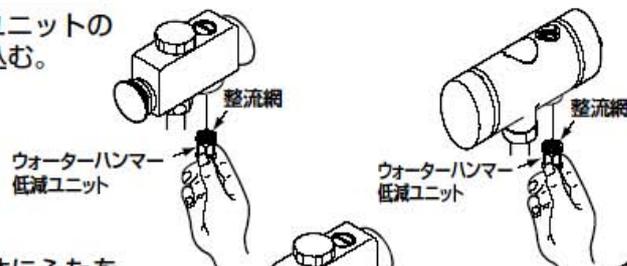
- ③ ウォーターハンマー低減ユニットを真下に引き抜く。

※取り出しにくいときは、先端の樹脂ケースリング部をラジオペンチなどでつかんで取り出してください。

取り出す際は、力の入れ過ぎに注意してください。樹脂ケースが過度の力で割れる場合があります。



- ④ 交換用のウォーターハンマー低減ユニットの上に整流網を入れ、本体奥に差し込む。



- ⑤ ふたにフィルターを差し込み、本体にふたを取り付ける。



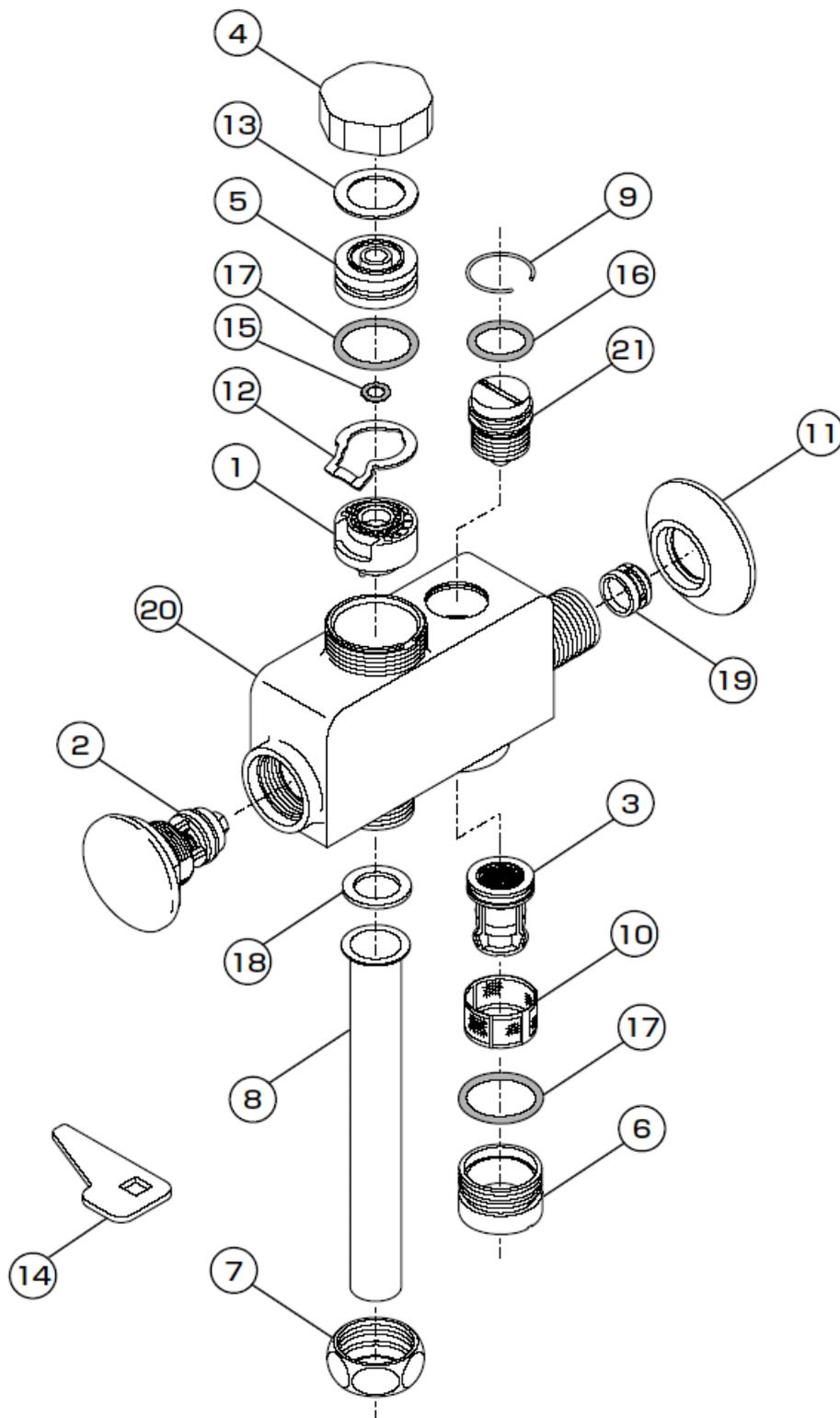
※再度、フィルターを取り出す際は、フィルターを掃除してください。また、整流網を忘れずに取り付けてください。

－ 目 次 －

品番	ページ
T600PNX	2 1
T600PFNKX	2 3
T600QQRX	2 5
T601PX	2 7
TG600PNX	2 9
TG600PFNKX	3 1

※品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください
※表示価格には消費税相当額は含まれておりません

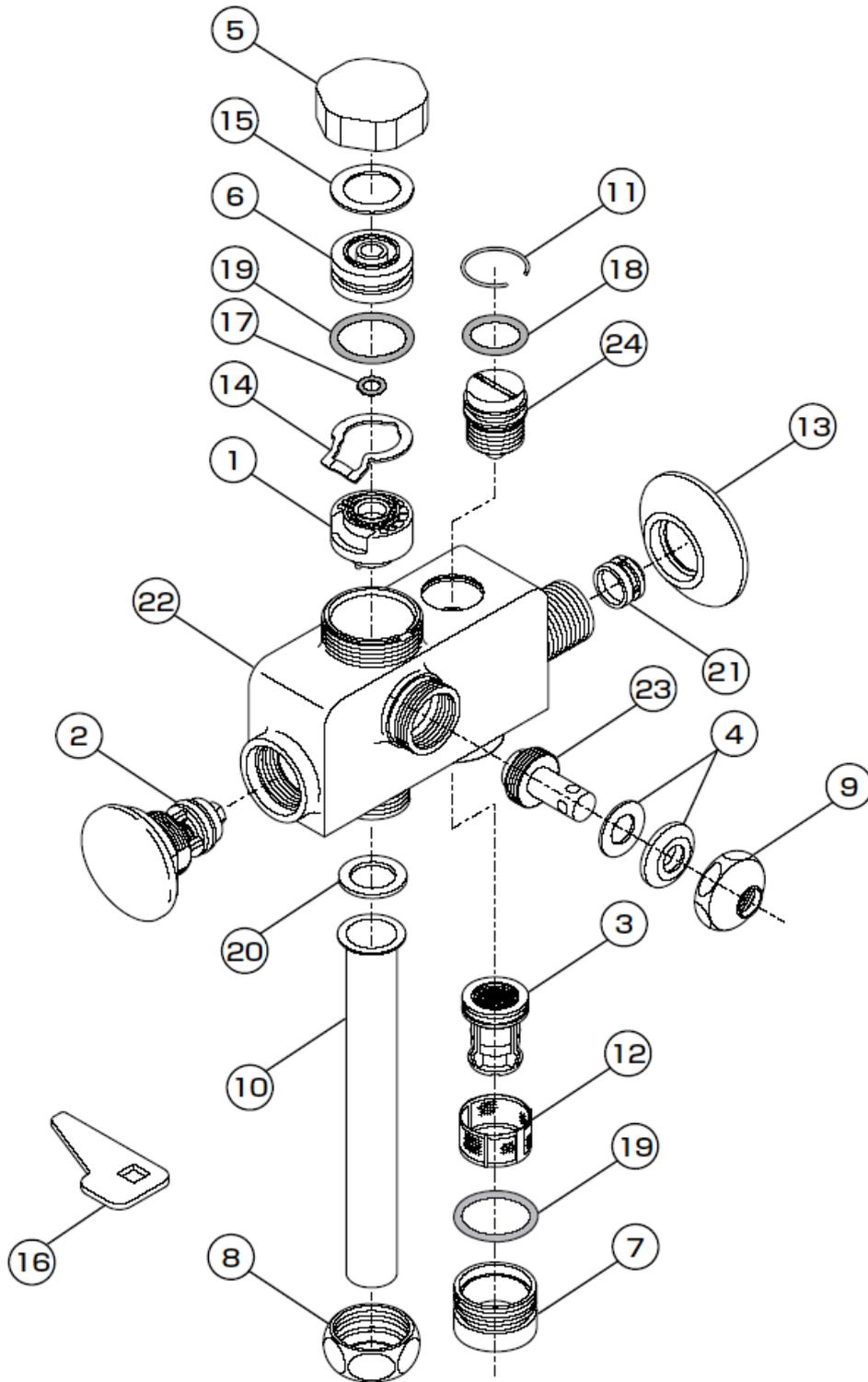
●T600PNX



● T 6 0 0 P N X

図面番号	部品名称	部品番号	個数	備考
①	ダイヤフラムバルブ部	T H F 1 5	1	
②	自閉バルブ部	T H G 5	1	
③	ウォーターバルブ低減ユニット部	T H J 1 2	1	
④	ふさぎふた	1 9 3 5 7 R	1	
⑤	スペーサー	1 9 3 9 7 R	1	
⑥	ふた	1 9 5 5 3	1	
⑦	袋ナット 2 4	2 2 0 1 2	1	
⑧	排水管	4 0 1 1 2 9	1	
⑨	止め輪	6 6 5 6 9	1	
⑩	フィルター	6 6 5 7 1	1	
⑪	送り座	7 1 1 5 8 Z A	1	
⑫	回り止めワッシャー	7 2 7 3 5	1	
⑬	スリップワッシャー	7 2 7 4 1	1	
⑭	開閉工具	8 5 0 6 0 R Z	1	
⑮	Oリング	9 1 2 3 2 E 1	1	
⑯	Oリング	9 3 1 4 0 E	1	
⑰	Oリング	9 3 7 8 0 E	2	
⑱	パッキン	9 4 0 0 7 R	1	
⑲	減圧ブッシュ	9 7 4 2 5 2	1	
⑳	ワッシャーがバルブ本体部ユニット	9 A 2 6 0 1 N	1	
㉑	止水バルブユニット	9 B 4 1 0 8	1	

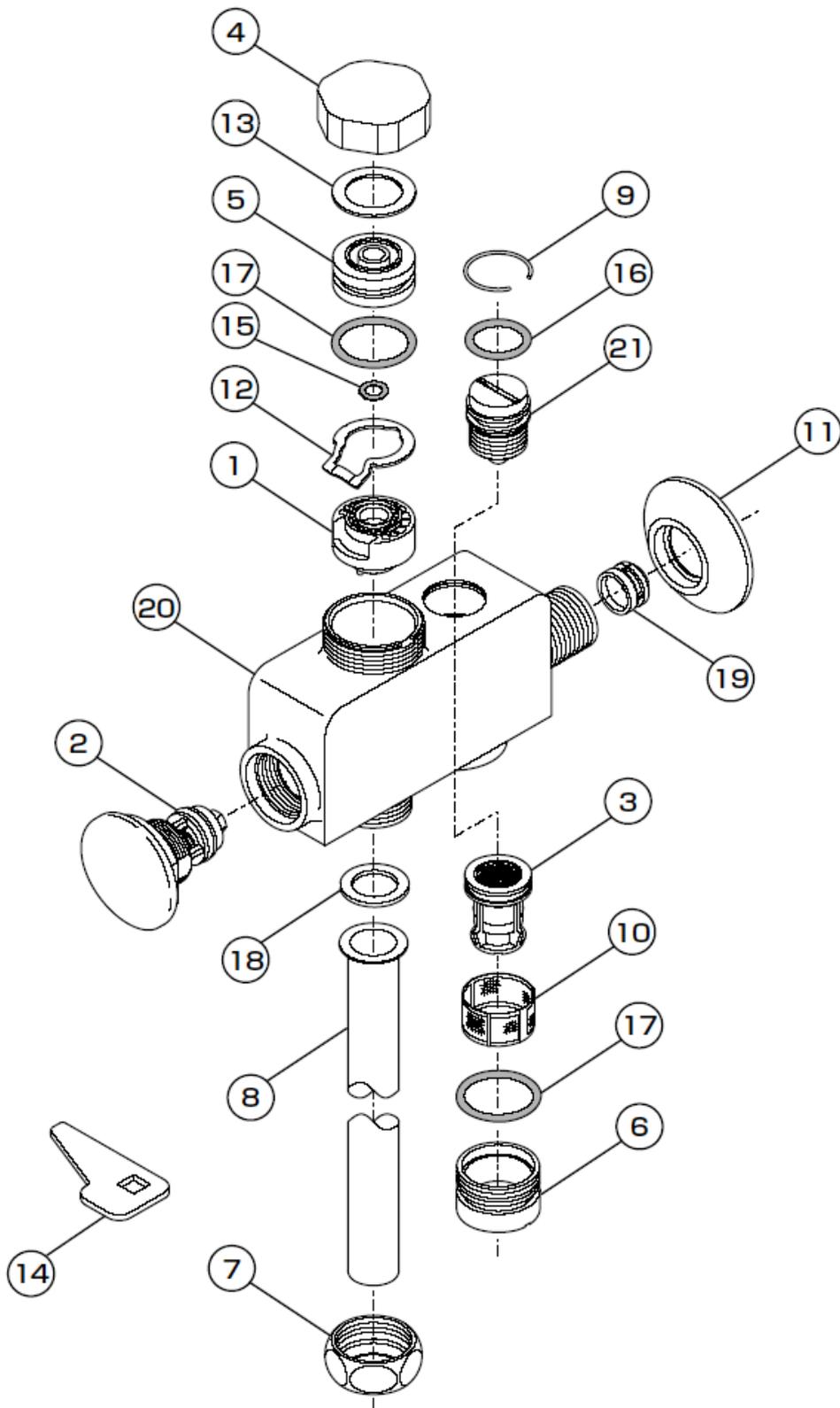
●T600PFNKX



● T 6 0 0 P F N K X

図面番号	部品名称	部品番号	個数	備考
①	ダイヤフラムバルブ部	T H F 1 5	1	
②	自閉バルブ部	T H G 5	1	
③	ウォーターバルブ-低減ユニット部	T H J 1 2	1	
④	三角パッキン	T H Y 9 1 7 3 9	1	
⑤	ふさぎふた	1 9 3 5 7 R	1	
⑥	スプーサー	1 9 3 9 7 R	1	
⑦	ふた	1 9 5 5 3	1	
⑧	袋ナット 2 4	2 2 0 1 2	1	
⑨	キャップナット	2 3 0 1 8	1	
⑩	排水管	4 0 1 1 2 9	1	
⑪	止め輪	6 6 5 6 9	1	
⑫	フィルター	6 6 5 7 1	1	
⑬	送り座	7 1 1 5 8 Z A	1	
⑭	回り止めワッシャー	7 2 7 3 5	1	
⑮	スリップワッシャー	7 2 7 4 1	1	
⑯	開閉工具	8 5 0 6 0 R Z	1	
⑰	Oリング	9 1 2 3 2 E 1	1	
⑱	Oリング	9 3 1 4 0 E	1	
⑲	Oリング	9 3 7 8 0 E	2	
⑳	パッキン	9 4 0 0 7 R	1	
㉑	減圧ブッシュ	9 7 4 2 5 2	1	
㉒	フラッシュバルブ本体部ユニット (寒冷地用)	9 A 2 6 0 2 N	1	
㉓	水抜きバルブ	9 B 1 3 0 5	1	
㉔	止水バルブユニット	9 B 4 1 0 8	1	

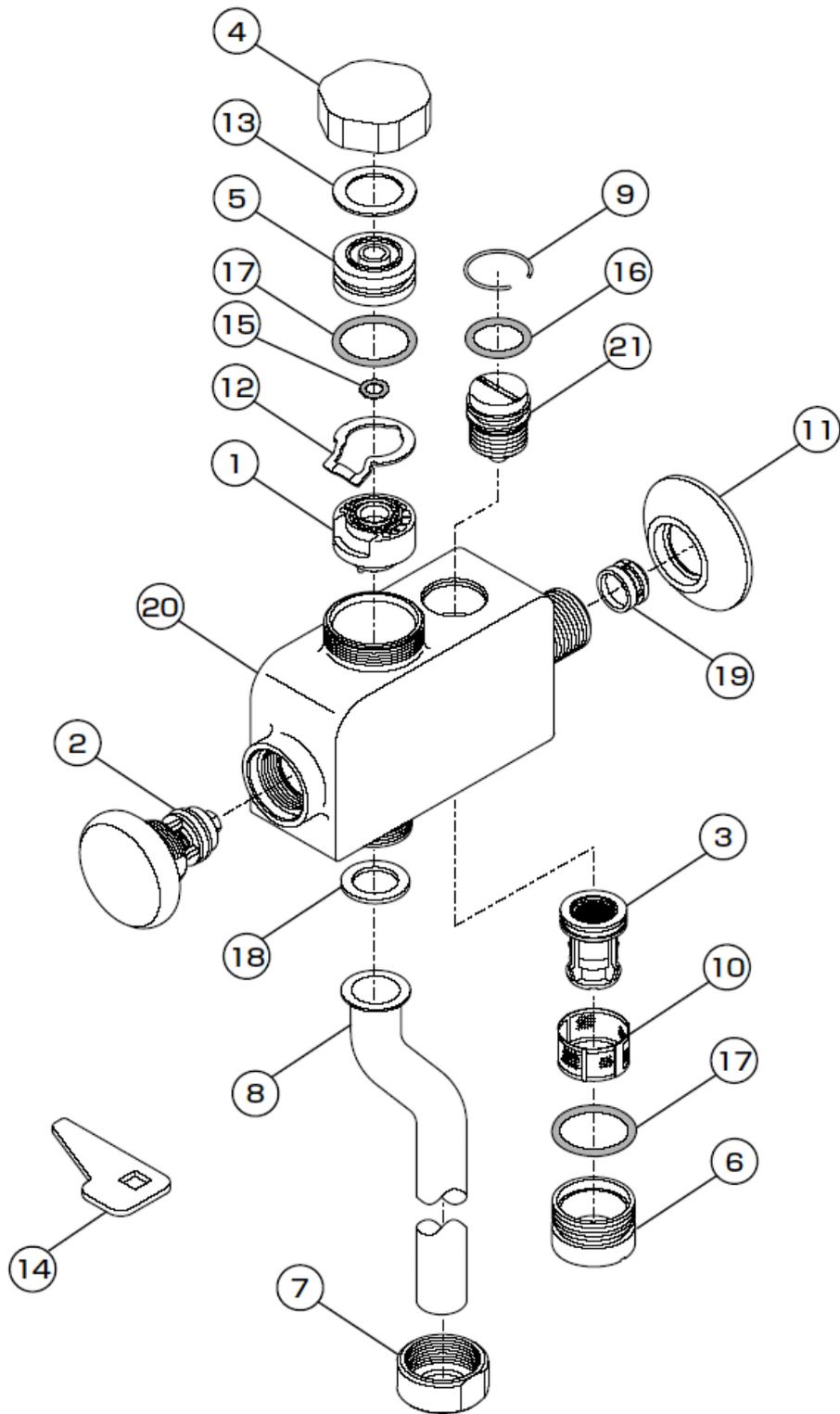
●T600PQRX



● T 6 0 0 P Q R X

図面番号	部品名称	部品番号	個数	備考
①	ダイヤフラムバルブ部	T H F 1 5	1	
②	自閉バルブ部	T H G 5	1	
③	ウォーターガン-低減ユニット部	T H J 1 2	1	
④	ふさぎふた	1 9 3 5 7 R	1	
⑤	スペーサー	1 9 3 9 7 R	1	
⑥	ふた	1 9 5 5 3	1	
⑦	袋ナット 2 4	2 2 0 1 2	1	
⑧	排水管	4 0 1 1 2 8	1	
⑨	止め輪	6 6 5 6 9	1	
⑩	フィルター	6 6 5 7 1	1	
⑪	送り座	7 1 1 5 8 Z A	1	
⑫	回り止めワッシャー	7 2 7 3 5	1	
⑬	スリップワッシャー	7 2 7 4 1	1	
⑭	開閉工具	8 5 0 6 0 R Z	1	
⑮	Oリング	9 1 2 3 2 E 1	1	
⑯	Oリング	9 3 1 4 0 E	1	
⑰	Oリング	9 3 7 8 0 E	2	
⑱	パッキン	9 4 0 0 7 R	1	
⑲	減圧ブッシュ	9 7 4 2 5 2	1	
⑳	フラッシュバルブ本体部ユニット	9 A 2 6 0 1 N	1	
㉑	止水バルブユニット	9 B 4 1 0 8	1	

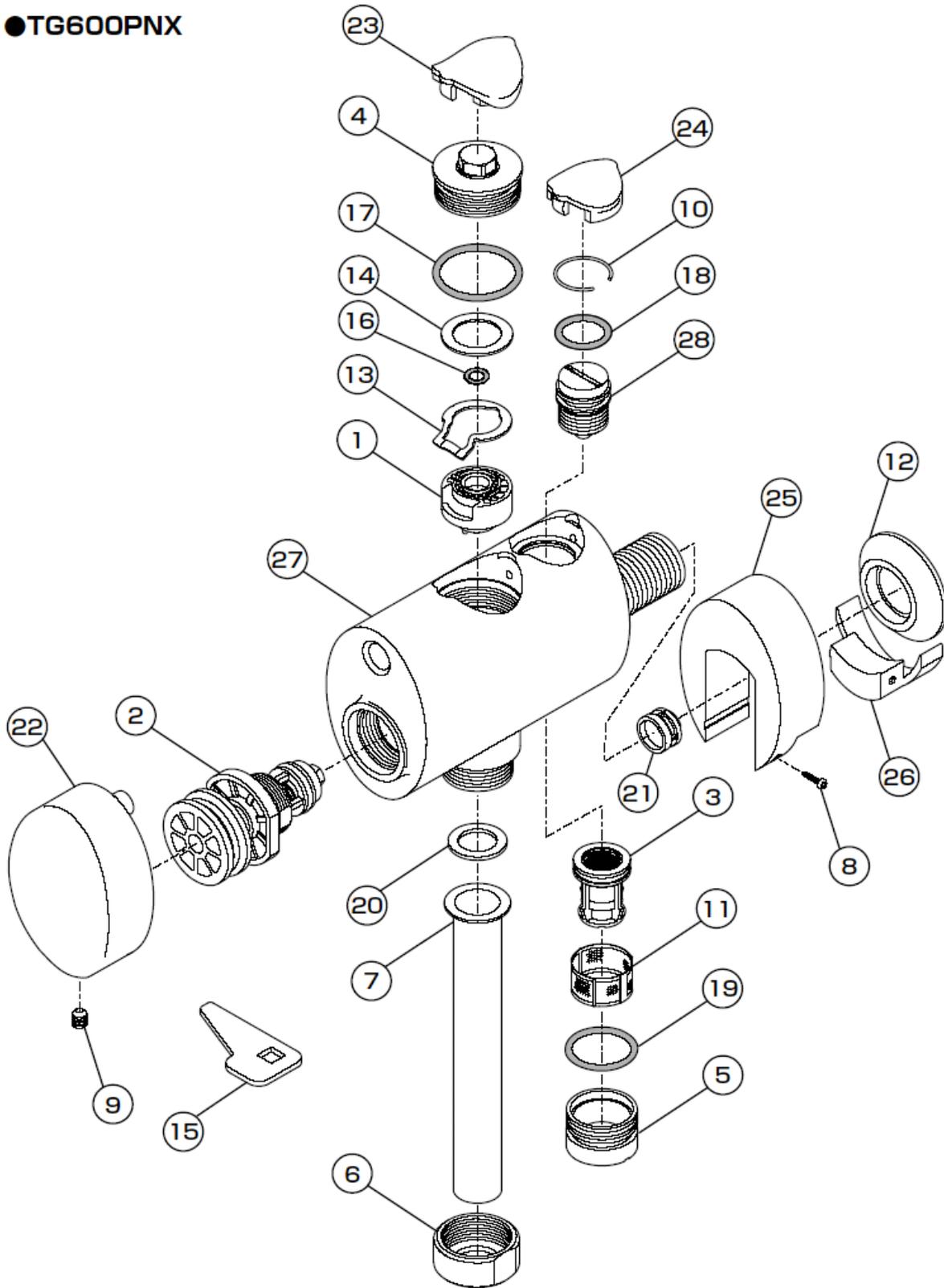
●T601PX



● T 6 0 1 P X

図面番号	部品名称	部品番号	個数	備考
①	ダイヤフラムバルブ部	T H F 1 5	1	
②	自閉バルブ部	T H G 7	1	
③	ウォーターバルブ-低減ユニット部	T H J 1 2	1	
④	ふさぎふた	1 9 3 5 7 R	1	
⑤	スペーサー	1 9 3 9 7 R	1	
⑥	ふた	1 9 5 5 3	1	
⑦	袋ナット 2 4	2 2 4 0 6	1	
⑧	排水管	4 0 1 1 2 9	1	
⑨	止め輪	6 6 5 6 9	1	
⑩	フィルター	6 6 5 7 1	1	
⑪	送り座	7 1 1 5 8 Z A	1	
⑫	回り止めワッシャー	7 2 7 3 5	1	
⑬	スリップワッシャー	7 2 7 4 1	1	
⑭	開閉工具	8 5 0 6 0 R Z	1	
⑮	Oリング	9 1 2 3 2 E 1	1	
⑯	Oリング	9 3 1 4 0 E	1	
⑰	Oリング	9 3 7 8 0 E	2	
⑱	パッキン	9 4 0 0 7 R	1	
⑲	減圧ブッシュ	9 7 4 2 5 2	1	
⑳	フラッシュバルブ本体部ユニット	9 A 2 6 0 1 N	1	
㉑	止水バルブユニット	9 B 4 1 0 8	1	

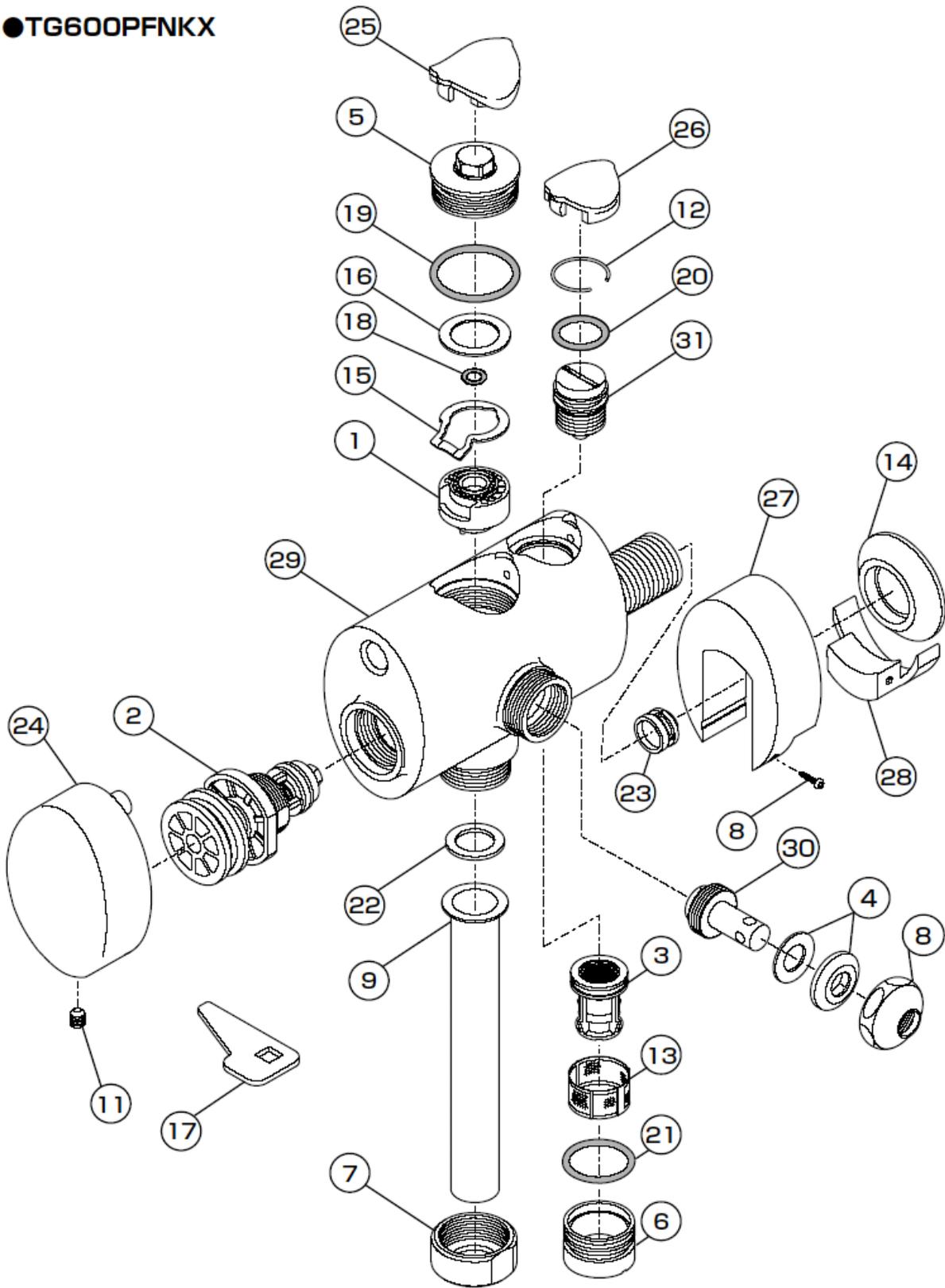
●TG600PNX



●TG600PNX

図面番号	部品名称	部品番号	個数	備考
①	ダイヤフラムバルブ部	THF15	1	
②	自閉バルブ部	THG6	1	
③	ウォーターバルブ-低減ユニット部	THJ12	1	
④	スピンドルガイド	19383R	1	
⑤	ふた	19553	1	
⑥	袋ナット24	22406	1	
⑦	排水管	40112	1	
⑧	なべタッピンねじ(2×8)	61275	1	
⑨	止めねじ(M5×6)	61372M	1	
⑩	止め輪	66569	1	
⑪	フィルター	66571	1	
⑫	送り座	711582	1	
⑬	回り止めワッシャー	72735	1	
⑭	スリップワッシャー	72741	1	
⑮	開閉工具	85060RZ	1	
⑯	Oリング	91232E1	1	
⑰	Oリング	91787E	1	
⑱	Oリング	93140E	1	
⑲	Oリング	93780E	1	
⑳	パッキン	94007R	1	
㉑	減圧ブッシュ	974252	1	
㉒	押しボタン	97436	1	
㉓	キャップ	97439	1	
㉔	キャップ	97440R	1	
㉕	カバー	97441	1	
㉖	カバー	97442	1	
㉗	フラッシュバルブ本体部ユニット	9A2603N	1	
㉘	止水バルブユニット	9B4108	1	

●TG600PFNKX



●TG600PFNKX

図面番号	部品名称	部品番号	個数	備考
①	ダイヤフラムバルブ部	THF15	1	
②	自閉バルブ部	THG6	1	
③	ウォーターガン-低減ユニット部	THJ12	1	
④	三角パッキン	THY91739	1	
⑤	スピンドルガイド	19383R	1	
⑥	ふた	19553	1	
⑦	袋ナット24	22406	1	
⑧	キャップナット	23018	1	
⑨	排水管	40112	1	
⑩	なべタッピンねじ(2×8)	61275	1	
⑪	止めねじ(M5×6)	61372M	1	
⑫	止め輪	66569	1	
⑬	フィルター	66571	1	
⑭	送り座	711582	1	
⑮	回り止めワッシャー	72735	1	
⑯	スリップワッシャー	72741	1	
⑰	開閉工具	85060RZ	1	
⑱	リング	91232E1	1	
⑲	リング	91787E	1	
⑳	リング	93140E	1	
㉑	リング	93780E	1	
㉒	パッキン	94007R	1	
㉓	減圧ブッシュ	974252	1	
㉔	押しボタン	97436	1	
㉕	キャップ	97439	1	
㉖	キャップ	97440R	1	
㉗	カバー	97441	1	
㉘	カバー	97442	1	
㉙	フラッシュバルブ本体部ユニット (寒冷地用)	9A2604N	1	
㉚	水抜きバルブユニット	9B1306	1	
㉛	止水バルブユニット	9B4108	1	